

山口県感染症発生週報

(第47週:平成25年11月18日～11月24日)

1 全数把握感染症

【2類感染症】

- ・結核: 第46週追加 1例(下関)。
第47週 6例(下関2、周南1、防府1、宇部2)。

【4類感染症】

- ・レジオネラ症: 1例(下関)。



レジオネラ菌 CDC

2 定点把握感染症(5類感染症)

(1)特記事項

- ・インフルエンザ: 防府で増加しています。他の地域でも少数ですが報告されており、迅速検査ではA型が検出されています。今後の動向に注意が必要です。
- ・RSウイルス感染症: 周南、長門でやや多い状態です。県全体でのピーク時(9月中旬から下旬)に比べ、報告数は減少していますが、冬の間多発する疾患であり、今後も注意が必要です。
- ・A群溶血性レンサ球菌咽頭炎: 山口で警報レベルが続いています。[警報レベル: 山口(5週目)]*
- ・感染性胃腸炎: 増加傾向がみられます。冬期はウイルスを原因とした感染性胃腸炎が流行しやすいので、今後の動向に注意が必要です。
- ・水痘: 萩で警報レベルが続いています。[警報レベル: 萩(4週目)]*

※警報レベル・注意報レベルの基準値詳細についてはHPをご覧ください。
<http://kanpokken.pref.yamaguchi.lg.jp/jyoho/report2012/keihotyuuho.php>

(2)週別発生状況

疾患名	45週	46週	47週	疾患名	45週	46週	47週
インフルエンザ	2	8	22	百日咳	2	0	0
RSウイルス感染症	80	66	55	ヘルパンギーナ	8	9	10
咽頭結膜熱	19	15	33	流行性耳下腺炎	4	3	3
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	105	119	123	急性出血性結膜炎	0	0	0
感染性胃腸炎	249	319	404	流行性角結膜炎	0	1	0
水痘	36	46	66	クラミジア肺炎	0	0	0
手足口病	21	24	32	細菌性髄膜炎	0	0	0
伝染性紅斑	2	2	2	マイコプラズマ肺炎	0	0	2
突発性発しん	30	39	22	無菌性髄膜炎	0	0	0
				感染性胃腸炎(ロタウイルス)	0	0	0

(3)地域別発生状況

疾患名	下関	岩国	柳井	周南	防府	山口	宇部	長門	萩	全体
インフルエンザ	1	2	1	0	15	2	1	0	0	22
RSウイルス感染症	14	5	3	20	4	2	3	4	0	55
咽頭結膜熱	15	1	0	2	4	3	5	0	3	33
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	38	3	3	10	3	49	12	0	5	123
感染性胃腸炎	122	20	0	96	15	61	53	21	16	404
水痘	26	2	0	5	1	8	6	6	12	66
手足口病	2	2	1	11	14	0	2	0	0	32
伝染性紅斑	0	0	0	0	0	0	2	0	0	2
突発性発しん	5	2	0	6	0	5	2	1	1	22
百日咳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ヘルパンギーナ	2	0	0	1	1	0	4	0	2	10
流行性耳下腺炎	1	0	0	0	0	0	0	2	0	3
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
流行性角結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
クラミジア肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
マイコプラズマ肺炎	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0